会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和８年度第１回宮古市立図書館協議会を次のとおり開催しました。

令和８年１１月１１日

宮古市立図書館協議会

１　開催日時
令和８年１１月４日（水）午前１０時から午前１１時１７分まで

２　開催場所
宮古市役所４階特別会議室

３　議　　題
（１）令和７年度宮古市立図書館の運営状況について
（２）令和８年度宮古市立図書館の運営方針及び事業計画について
（３）その他

４　会議の概要
別添のとおり

５　問い合わせ先
宮古市立図書館　　電話６２－２４１４

第１回宮古市立図書館協議会

１　出席者（４名）

齊藤智彦、加藤敏子、戸由忍、小笠原孝雄

２　欠席者（３名）

新山麻理、三浦明美、外舘織絵

３　事務局出席者（５名）

地域振興部長　袰岩邦行、地域づくり推進課長　柾屋真由美、
図書館長　菊池　廣、主査　三浦志津香、司書　大澤東華

４　傍聴者

なし

５　議事等

（１）令和７年度宮古市立図書館の運営状況について

令和７年度宮古市立図書館の事業実施状況等について事務局から説明をして、質疑等を受けた。

（２）令和８年度宮古市立図書館の運営方針及び事業計画について

令和８年度宮古市立図書館の運営方針と事業計画等について事務局から説明をして、質疑を受けた。

（３）その他

６　その他

特になし

質疑応答内容

質疑・意見	回答
【議題】 (1)令和7年度宮古市立図書館の運営状況について （委員） 　週に半分くらい利用している。いつも思うが、事業がすごく多い。職員の人数も見ればそれなりはいるが、よくやっていると思う。事業によっては、参加人数が、多い少ないはあるが、大事なことは、それを続けて行くことだと思う。私は、今のところ、満足している。今まで、東京、広島、仙台、宮古と暮らしてきたが、２０代から約５０年、図書館を利用してきて、宮古の図書館は決して大都市に比べてもそん色はない。蔵書数や規模の大きさ、施設の立派さはもちろん違うが、中身に関して言えば、気持ちよくとはいかないまでも、そこそこに利用できる（意見）。	
（委員） 　私も事業の数をみて、皆さんに感謝申し上げたい。実績の数値だが、多い少ないという評価があるとは思うが、それはあり得ることで、それに一喜一憂せず、中身について充実してもらえればよい。この中で、読書マラソンがあるが、一番読んでいる人は、どのくらい読んでいるのか。	（事務局） 　多い子で、２００冊、３００冊という子がいる。
（委員） 　すごい数である。マラソンということで、その年度、年度での数の評価もあるし、過去の年度を通した中で、市立図書館の記録は何	

冊だということで、今までをやってきたことを振り返りながら評価するということも参加者の励みになるのではないか（意見）。	
（委員） 図書館お化け屋敷は例年好評のようだが、人数が多すぎて断ることもあるのか。	（事務局） 申込者数が多くて、抽選で選んでいる。
（委員） 抽選というのは、仕方がないと思うが外れた方は、来年度の応募の際、考慮するというようなことがあればよいと思う（意見）。	
（委員） 職員の皆さんが、お化けになるのか。	（事務局） はい。館内の１階を使って、通路を一方通行にして、通路を装飾して暗幕を張ったり、マネキンを置いたり、職員もお化けになったりする。職員も楽しみながらやっている。泣く子がいるので、それなりに怖いのかなと思う。始める前に、２階で怖い話の読み聞かせがあり、終わった後、１組ずつ時間差で、エレベーターで降りて来て、館内を歩いてもらう。来た人が楽しんでもらえればと思う。
（委員） お化けが足りないときには、声をかけてほしい（意見）。	
（委員） 読書マラソンでは、本校の生徒も３位になり、立派な賞状と記念品をいただき、全校集会で表彰させていただいた。その子もまた、冬も上位を狙うと言っているし、他の子にとってもそういう企画があるということで、あ	

りがたく思っている（意見）。	
（委員） 　毎年度の事業内容について、回数がものすごく多い。大変だと思った。小さい人を中心に考えると、こども映画会やおはなし会は、利用させていただいてすごくありがたいと思っている。職場的に考えると、子供たちを集団で連れて映画会に行ったときなど、躾の場にもなっており、最初に教えられる場としてすごく役立っている場所である。これからも使わせていただきたい。また、映画を見た後に、下に連れて行って本を見せると、気持ちが楽になって穏やかに本を読んでいる。小さいときから、積み重ねて図書館に関わっていくきっかけをいっぱい作っていきたい。 　電子図書館について思ったことは、４０代５０代の人たちが、一番活用されているようだが、蔵書の分類を見ると、児童書が結構多いので、児童書じゃないものを購入するのもよいのではないか（意見）。	
（委員長） 　電子図書の蔵書の分類ということについて話をされたが、その辺についてはどうか。	（事務局） 　蔵書について、ご意見ありがとうございます。 　電子図書については、いかにして若い世代の利用を増やすかが課題である。昨年度の会議で、久慈市での例が挙げられたが、タブレットから電子図書館への登録が可能なのか。
（委員長） 　教育委員会を聞いてみなければわからない。非常にありがたいことだが、利用にあたってのルールが問題になると思う（意見）。	（事務局） 　今後、教育委員会とも協議をする。 　蔵書資料については、ご意見を参考にしたい。ただ、電子図書において、作家によって

	は、電子図書に載せないという作家も多いので、なかなかタイムリーに選ぶことが出来ないので、選ぶのに苦慮しているところはあるが、少しでも電子図書の利用が進むよう取り組みたい。
【議題】 (2)令和8年度宮古市立図書館の運営方針及び事業計画について	
（委員） 前回も聞いたが、熊坂さんのやっていたブックカフェ「ことの葉」の本の寄贈について、前館長の話だと、こちらからアプローチもしていないし、向こうからも声がかかっていと言われたが、館長も新しくなったので、その辺はどうか。	（事務局） 今後の参考にしてみたい。
（委員） 図書館シネマリバイバルでは、どのような作品を上映するのか。	（事務局） ４月に「アルジャーノンに花束を」、８月に「宮沢賢治銀河への旅」を上映した。２月には、「荒野に希望の灯をともす」を上映予定である。
（委員） なかなか図書館で映画をやっていることを知らない方がいるし、DVD も置いてあるというのを知らない方もいる。いいコーナーなので、広く知ってもらうようにすればよいと思う（意見）。	
（委員） この建物は、昭和５８年の時で考えても、今見ても、漸進的でなおかつ非常に落ち着く建物だと、個人的には、非常に気に入っており、好きな建物である。市内の公共施設を見ても、中庭があり木があるが、めったにない	

建物である。上手に使って、いつまでも愛される建物にしてもらいたい（意見）。	
（委員） 図書館の予算で、図書購入費が若干減っている。金額は減っているが、１冊当たりの単価が上がっている。物件費が、７％くらい上がっている。図書選定委員の方の悩ましい問題だと思っている。館長が言ったように、限られた予算で、凌いでいってもらいたい（意見）。	
（委員） 新しいDVDをすぐに購入してくれるのでありがたいが、新刊の上映も行ってほしい。	（事務局） DVDは、上映できるものとそうでないものがあるので、貸出できても、無料の上映会では、上映できないものがある。
（委員） 予算のところで、７年度と比べると、住居手当だったり、時間外手当だったり、金額が大きく違うところがあるが、どのような理由か。	（事務局） 職員の配置の関係で、手当の項目が増えたり減ったりしている。時間外手当は、財政課から示された予算で、実績により補正予算が組まれる。人件費は、職員の人事異動で、年度によって変わってくる。宮古市全体の自主財源が少なくなってきているので、トータルの宮古市の予算も抑えようという動きになっている。
（委員） わずかだが寄付したい（意見）。	（事務局） 数年前にあったが、図書館にという話が、教育関係全般にということになった経緯もある。

（委員長） 予算の内容について、説明いただき、様々な調整など行った中での予算であるということが分かった（意見）。	（事務局） １４節の工事請負費の名称が排煙機更新工事となっているが、外灯の更新工事なので訂正する。
（委員） 今回新規事業があるが、廃止した事業もあると思うが、どういうような考え方で廃止になったのか。	（事務局） 例えば、７年度で「テッパン絵本」という事業があるが、学校図書支援員や読書ボランティアの皆さんで絵本を紹介しあうというのが、８年度では「大人のゆるっとブックトーク」という事業で、２０歳以上の方に、自分の好きな本やお勧めの本を紹介しあうという事業になったり、令和６年度、７年度で実施した「ビブリオバトル」というお勧めの本の紹介やディスカッションをするというのが、やはり「「大人のゆるっとブックトーク」になったり、事業の見直しを行った。「カバーフィルム掛け講座」も「本の修理講座」でやっていたものをもう少し具体的にしたもの。全部一回にはできないので、分けたようになっている。初歩的なものから次の段階へ見たいな感じになっている。
（委員） 発展的にいろいろ工夫をして、組み立てているのがわかった。完全に事業をなくしたのではないことも分かった。	（事務局） ほかの課との共催の企画もあるが、令和７年度だと文化課や市民協働課、介護保険課、健康課とのコラボ展示があるが、令和８年度だと計画の時点で関係かとのやりとりが出来ていなかったが、今後、このような感じで、コラボ企画展が開催される。
（委員） ビブリオバトルの下の、岩手県図書館巡回	（事務局） やる。

展は、今年度もあるのか。 （委員） 　巡回展があるということは、例えば、釜石とかほかの市立図書館との書籍の融通ということはあるのか。 【議題】 (3)その他 （委員） 　寄附の話があったが、いただいた報酬を寄附してもいいかなと思うが、例えば、図書館には桜の木があったりするが、その苗木を私一人では無理なので、委員の皆さんが良ければ、一緒にどうかと考えているが、私個人の勝手な意見である。	（事務局） 　相互貸借ということで、全国の公共図書館との間で行っている。 （事務局） 　仮に桜となると、植える場所が問題になってくるが、植えたとして、桜は根がすごく伸びていくので、周りへの影響があったりするので難しいのかなと思う。寄附というのであれば別な形で、本の寄贈ということも考えられる。